

初見長文の3読法——1回で読もうとしない

Class_____ No._____ Name_____

初めての長文が読めない原因は、1回で全部わかろうとすること。入試で戦う人の読み方は3回に分けて、毎回ちがう目的で読む。このシートは、どの長文(教科書・入試過去問・初見素材)にもかぶせて使える読み方の型。先生から配られた長文にこのシートを添えて進めよう。

1読 スキャニング読み(2分)——「何の話か」だけつかむ

タイトル・絵・最初と最後の文だけ見て予想: この文章は何の話?(日本語1行)	
くり返し出てくる単語を3つ拾おう(=キーワード)	

✓ ルール: 1読では辞書を引かない・止まらない・戻らない。「わからない所を飛ばす勇気」の練習でもある。

2読 骨さがし読み(5分)——段落ごとに「言いたいこと」を1つ

第1段落	ひとことメモ(日本語OK):
第2段落	ひとことメモ:
第3段落	ひとことメモ:
第4段落～	ひとことメモ:

✓ コツ: 各段落の最初の文が骨になっていることが多い。長い説明のかたまり(名詞のうしろのing・過去分詞・who/which)は()でくくって飛ばすと骨が見える。

3読 推理読み(8分)——わからない語を「推理」してから確かめる

わからなかった語①	_____	推理した意味→(辞書・先生で確認後)本当の意味:
わからなかった語②	_____	推理→本当の意味:
わからなかった語③	_____	推理→本当の意味:

✓ 推理の手がかり: ①前後の文の流れ ②単語の部品(un-, re-, -er, -ful...) ③似た日本語(カタカナ語)。推理→確認の順を守ると、語彙が「調べた語」でなく「当てた語」として記憶に残る。

4 仕上げ この文章を「読んでいない人」に紹介しよう。

この文章をひとことで(英語1文: This story is about ~.)	
いちばん心に残った文を書き写す(本文から1文)	
自分の意見をひとこと(I think (that) ~.)	

5 ふりかえり 今日の読みを数字でチェック。

1読で「何の話か」の予想は当たっていた？	当たった・おいしい・はずれた
飛ばした所があっても骨はつかめた？	つかめた・半分・まだ
推理が当たった語の数	／3

✓「はずれた」「まだ」に○がついても大丈夫——3読法は回数をこなすほど当たるようになる型。次の長文でまたこのシートを使おう。

☆先生へ このシートは長文を選ばない汎用版です。運用のコツ: ①時間は2分→5分→8分をタイマーで厳守(1読で止まる生徒を構造的に前へ進める) ②2読の「骨メモ」だけ回収するとクラスの読解の実態が一目でわかる ③入試直前期は過去問1段落×このシートの部分使いが効きます。帯活動のスキャン・レースと組み合わせると1読の速度が上がります。